

# 豊川市子ども会連絡協議会の方針

## ○豊川市子ども会連絡協議会のあり方

子ども会は、遊びを中心とした体験を通して、子どもたちの生きる力を育む組織です。子ども会活動の基本は単位子ども会であり、地域に根差した活動を行うことで「異年齢集団の中での子どもの成長」「多くの人が参画することによる地域の繋がりが強化」「計画・実行することによる世話人(育成者)の成長」が期待されます。

豊川市子ども会連絡協議会は、単位子ども会活動を支援することによって、地域に貢献します。

### 目 標

### 単位子ども会活動の発展を目指します

今後、10年20年にわたって、単位子ども会活動を継続的に活発化するためには、多くの子どもが子ども会に加入しやすい環境づくり、世話人(育成者)の負担感を減らす(参加して楽しい)工夫、地域全体で子ども会活動を支える地域社会の醸成が必要であると考えます。

目標の実現に向けて、次の3つの方針に沿って、豊川市子ども会連絡協議会は事業展開を行っていくことが望ましいと考えます。

#### 方針 1

#### 子ども会加入率の向上

豊川市子ども会連絡協議会に加入すれば、メリットしかないと思ってもらえるような、組織の構築を図ります。

#### 方針 2

#### 役員・育成者の負担軽減

各種会議や市子連主催事業を廃止・縮小することによって大人の負担を軽減します。

#### 方針 3

#### 地域との連携強化

JLや町内会、地域のサークル団体等のボランティア団体等と単位子ども会を繋ぐ支援を行います。

### 単位子ども会活動の発展

加入率向上

大人の負担軽減

地域連携強化

## 長期的な展望

### ○市子連の現状

子ども会加入児童数の減少・加入率の減少やJL（ジュニアリーダー）登録人数の減少等の市子連全体が縮小傾向にあります。

|                   | 加入者数<br>合計  | ㉠小学生<br>加入者数 | ㉡市内<br>小学生数 | 割合<br>㉠／㉡ | 単子数   | JL<br>登録数 |
|-------------------|-------------|--------------|-------------|-----------|-------|-----------|
| 令和元年度             | 11,566<br>人 | 8,764人       | 10,604<br>人 | 82.65%    | 175単子 | 13人       |
| 令和2年度             | 11,286<br>人 | 8,495人       | 10,552<br>人 | 80.51%    | 174単子 | 14人       |
| 令和3年度             | 11,006<br>人 | 8,297人       | 10,465<br>人 | 79.28%    | 167単子 | 12人       |
| 令和4年度             | 10,592<br>人 | 7,952人       | 10,346<br>人 | 76.86%    | 162単子 | 4人        |
| 令和5年度             | 10,566<br>人 | 7,567人       | 10,246<br>人 | 73.85%    | 157単子 | 3人        |
| 令和6年度             | 10,083<br>人 | 6,974人       | 9,948<br>人  | 70.1%     | 154単子 | 4人        |
| 令和7年度<br>※R8.1月時点 | 9,834<br>人  | 6,488人       | 9,792<br>人  | 66.25%    | 149単子 | 6人        |

### 今後の方向性

令和4年度・令和5年度に様々な市子連主催事業の改革を行い、安全共済会費の無償化、各種市子連主催事業のスリム化を図りますが、単位子ども会活動の発展が目標となっています。10年後の長期的な目標を立てて市子連の継続的な向上を図りたいと考えます。

### 長期目標

#### 1. 市子連の加入率を83%程度に回復

改革を通して、より加入しやすい子ども会になり、ここ最近は減少傾向にある子ども会の加入率の向上を図りたいと考えています。

・目標値 5年後⇒加入率80% 10年後⇒加入率83%

#### 2. JLの登録者数を15人程度に増やすことを目標

お兄さんお姉さんとして、子ども達の自主的な活動を下支えする、リーダー的な役割を担う中学生・高校生（ジュニアリーダー）の活躍は、単子活動への協力や各種レクリエーション活動の企画運営等、今後の子ども会活動に重要な役割を担うことから、JL登録者数の向上を図りたいと考えます。

・目標値 5年後⇒10名 10年後⇒15名（各中学校区に1名以上）